

2016年2月15日

国内空港初！

インタラクティブ警備システムの実証実験への協力

～ 2月22日より実証実験開始！ ～

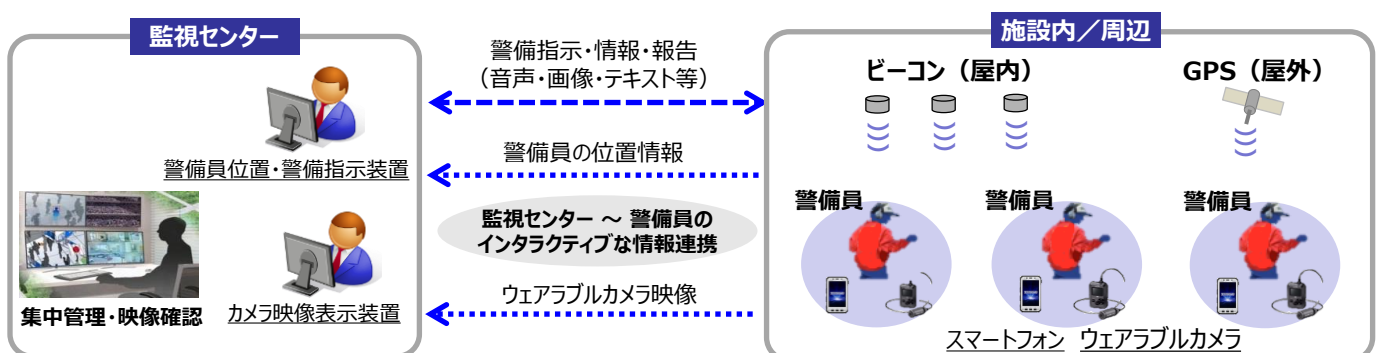
今般、成田国際空港株式会社（以下、成田空港）は、2016年2月22日（月）より、成田空港内において、パナソニック株式会社が開発したウェアラブルカメラと位置測位技術を活用したインタラクティブ警備システムの実証実験に協力することになりましたので、お知らせいたします。

本システムは、テロ等の凶悪犯罪や混雑による雑踏事故に対する警備の強化・効率化を実現することを目的として、ウェアラブルカメラやスマートフォンなどを活用し、警備員の位置情報と現場映像を監視センターでリアルタイムに集中管理・確認することで、問題発生時の迅速且つ的確な対応につながる可能性があるものです。

成田空港は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、全てのお客様が安心して空港を利用できるよう、世界トップレベルの安全な空港を目指してまいります。

※詳細については添付資料をご参照ください。

（実証実験イメージ）



2016年2月15日

成田空港にて、ウェアラブルカメラやスマートフォンなどを活用

インタラクティブ警備システムの実証実験を開始

人が多く集まる場所の警備強化を実現

パナソニック株式会社（以下、パナソニック）は、成田国際空港株式会社（以下、成田空港）にご協力をいただき、成田空港にてウェアラブルカメラと位置測位技術を活用したインタラクティブ警備システムの実証実験を実施します。

2020年に向けて訪日外国人観光客が急増していくなか、空港・観光地・イベント会場などでは混雑することが予想され、問題発生時に警備の混乱を招く恐れがあります。

本システムは、人が多く集まる場所を狙ったテロ等の凶悪犯罪や混雑による雑踏事故に対する警備の強化を実現するもので、ウェアラブルカメラやスマートフォンなどを活用し、警備員の位置と現場映像を防災センターでリアルタイムに集中管理・確認することにより、問題発生時の迅速且つ的確な対応が可能となります。また、警備に関連する画像やテキストメッセージ等の情報を警備員のスマートフォンに配信・共有することで、正確な情報伝達を行い効率的な警備を実現します。

【実証実験の概要】

ウェアラブルカメラ等を装着したパナソニック社員及び成田空港の警備員が空港内を移動し、位置測位精度の検証やシステムの有効性の確認を行います。

＜実施期間＞ 2016年2月22日（月）～ 3月4日（金）11:00～15:00

＜実施場所＞ 第2旅客ターミナル 1F～4F（一般エリア）

＜実施内容＞ ①技術検証（2月22日～26日）

・位置測位精度やウェアラブルカメラ映像伝送等の検証

②運用検証（2月29日～3月4日）

・実際の警備員にて運用し、ウェアラブルカメラの使用感など含め、システムの有効性の検証

（実証実験イメージ）



【インタラクティブ警備システムの特長と従来との比較】



以上